

第15回

グローバル感染症研究セミナー



2023年8月3日
18:15-19:15

参加登録はこちら

<https://forms.gle/zKsWbywNWEmmN3pF8>



演者1：緒方 正男 先生

大分大学医学部腫瘍・血液内科学講座 教授

同種造血幹細胞移植後中枢神経系感染症：HHV-6B脳炎とそれ以外

演者2：藤 重夫 先生

大阪国際がんセンター 血液内科 副部長

同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染症

同種造血幹細胞移植患者は難治性血液疾患の治療を目指す治療法であり、様々な合併症を伴う。中枢神経系合併症は約1割の患者にみられ、一部は急速に悪化する。我々はその最大の原因がHHV-6B脳炎であることを明らかとしてきた。一方でHHV-6B以外を原因とする脳炎は現在も診断自体が困難で予後は不良である。前半のセミナーではHHV-6B脳炎の解明と克服を目指した研究成果と、診断に至れない症例をなくすためのこれからの取り組みについて緒方教授が紹介する。

同種造血幹細胞移植後には日和見感染が問題となるが、その中でも歴史的に重要であったウイルス感染症としてはサイトメガロウイルス（CMV）感染症がある。CMV感染症に関しては、予防薬・治療薬の開発に加えて、検査法の臨床導入も重要である。CMV-PCR検査も本邦で保険適用として使用可能となっている。後半のセミナーでは同種移植後CMV感染症についての最近のトピックスを藤副部長が紹介する。

世話人 緒方 正男

（医学部腫瘍・血液内科学講座 教授、グローバル感染症研究センター兼任）

セミナー問合せ先

大分大学グローバル感染症研究センター共同利用・共同研究係（5444）

TEL 097 (586) 5444 E-mail glocal@oita-u.ac.jp